



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月4日

上場会社名 株式会社SM ENTERTAINMENT JAPAN 上場取引所 東
コード番号 4772 URL http://smej.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金 東佑
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部門長 (氏名) 山田 政彦 TEL 03-6809-6118
半期報告書提出予定日 2025年8月8日 配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	4,867	△6.3	138	△56.4	142	△56.6	365	28.4
2024年12月期中間期	5,193	6.8	318	15.4	328	15.8	284	16.2

(注) 包括利益 2025年12月期中間期 985百万円 (ー%) 2024年12月期中間期 66百万円 (△91.0%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	3.15	ー
2024年12月期中間期	2.46	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	15,538	8,442	48.5
2024年12月期	14,405	7,783	48.0

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 7,529百万円 2024年12月期 6,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	ー	0.00	ー	1.00	1.00
2025年12月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2025年12月期（予想）	ー	ー	ー	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,866	1.5	405	11.5	409	9.2	405	△48.5	3.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期中間期	115,904,831株	2024年12月期	115,904,831株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	9,930株	2024年12月期	9,930株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年12月期中間期	115,894,901株	2024年12月期中間期	115,894,957株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、第2四半期（中間期）決算短信〔添付資料〕3ページ 1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(中間連結損益計算書に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社グループに関連する市場環境につきましては、エンターテインメント業界では、大規模会場の新設・高稼働化、1公演あたりの動員数やチケット単価上昇などによって、音楽ライブ市場は過去最高の市場規模を更新しています。今後も、新規会場の設置、新設会場の安定稼働、高付加価値コンテンツの創出が進むことで市場が拡大していく見通しです。映像コンテンツ業界では、大手OTTサービス事業者によるコンテンツの買い占めにより作品数が減少、限られたコンテンツの獲得競争が激化したことに加え、OTTサービス利用の増加による視聴者層の分散や若年層のテレビ離れが相次いでおり、多チャンネルサービスの加入世帯減少や広告収入の減少など市場環境は厳しい状況が続いています。

このような経営環境の中、エンターテインメント事業は当第2四半期連結会計期間において、43公演のコンサート開催で34万人を動員しました。この結果、当中間連結会計期間では合計68公演を実施し、約64万人を動員したことで好調に推移しました。コンサート以外の事業では、輸入グッズの販売や広告出演等の事業が奏功しました。

ライツ&メディア事業では、ライツ事業で新作コンテンツの獲得営業を積極的に行うとともに、獲得した新作コンテンツの一部について収益構造の転換を進めました。メディア事業ではプレミアムコンテンツを放映し、視聴者の新規獲得および解約防止に努めるとともに、事業収益の効率化を図っています。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は4,867百万円(前年同期比6.3%減)、営業利益は138百万円(前年同期比56.4%減)、経常利益は142百万円(前年同期比56.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は365百万円(前年同期比28.4%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

(エンターテインメント事業)

コンサート事業では、2024年11月よりスタートした「東方神起 20th Anniversary LIVE TOUR～ZONE～」が好評を博し、当初計画外の東京ドーム追加公演を含む全22公演で約35万人を動員しました。また、NCT 127は5月の東京ドーム2公演を含む「NCT 127 4TH TOUR 'NEO CITY : JAPAN - THE MOMENTUM」を開催し、計4公演、約8万人を動員したことに加え、NCT 127のYUTAやWayVのTEN等のソロ活動による小規模公演も計33公演開催しました。

コンサート以外の事業では、MD事業においては、「2025 aespa LIVE TOUR - SYNK PARALLEL LINE - ENCORE」等の、韓国から輸入する受注生産のグッズは収益に大きく貢献しました。また、その他の事業においては、所属アーティストの広告起用が継続的に増加しており、NCT WISHがNew Balanceのサマーアパレル広告のモデルに抜擢されたことに加え、NCT 127のYUTAが「TWISTED PARADISE」をリリースし、オリコンROCKランキング3週連続1位を獲得する等、印税収入も業績に寄与しました。その結果、エンターテインメント事業の業績は計画を大きく上回る結果となりました。

この結果、売上高は3,673百万円(前年同期比7.5%減)、セグメント利益は273百万円(前年同期比41.7%減)となりました。

(ライツ&メディア事業)

ライツ事業においては、「目覚ましSuperTV」「初々しいロマンス」等、計8作品を獲得し、その結果、当中間連結会計期間においては累計14本を獲得し、新作コンテンツの一部について収益構造の転換を進めました。市場環境の変化に対応するため、OTT事業者との連携をより強化し、独占先行配信を戦略的に展開することで、売上高の増加及び収益力の強化に繋がっています。

メディア事業においては、グループシナジーを活かした、SMTOWN LIVEやSHINeeなどのプレミアムコンテンツ計4作品を放映し、その結果、当中間連結会計期間においては累計10本を放映しました。多チャンネル市場縮小による権利販売減少の影響を受け、厳しい状況が続いていますが、視聴者の新規獲得および解約防止を図ることに加え、コストコントロールを徹底し、事業全体の効率化を推進しています。その結果、ライツ&メディア事業の業績は計画を上回る結果となりました。

この結果、売上高は1,193百万円(前年同期比2.3%減)、セグメント利益は134百万円(前年同期比18.0%減)となりました。

(その他事業)

その他事業はカラオケアプリの事業を行っていましたが、前連結会計年度において事業を終了しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は15,538百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,133百万円増加いたしました。流動資産は12,877百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円増加いたしました。その主な要因は、売掛金が1,566百万円減少したものの、現金及び預金が1,929百万円増加したことによるものであります。また、固定資産は2,661百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,033百万円増加いたしました。その主な要因は、投資有価証券が972百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は7,096百万円となり、前連結会計年度末に比べ474百万円増加いたしました。流動負債は6,310百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円増加いたしました。その主な要因は、流動負債のその他が439百万円減少したものの、買掛金が396百万円増加及び契約負債が218百万円増加したことによるものであります。また、固定負債は786百万円となり、前連結会計年度末に比べ353百万円増加いたしました。その主な要因は、繰延税金負債が354百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は8,442百万円となり、前連結会計年度末に比べ658百万円増加いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益365百万円により増加いたしました。また、剰余金の配当115百万円により減少したものの、その他有価証券評価差額金が367百万円増加、非支配株主持分が252百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,929百万円増加し、4,382百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、2,052百万円(前年同期は1,541百万円の獲得)となりました。

収入の主な内訳は、売上債権の減少額1,482百万円、仕入債務の増加額396百万円、税金等調整前中間純利益372百万円等によるものであり、支出の主な内訳は、その他の流動負債の減少額358百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、0百万円(前年同期は3百万円の使用)となりました。

収入の主な内訳は、差入保証金の回収による収入5百万円等によるものであり、支出の主な内訳は、敷金及び保証金差入による支出4百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、116百万円(前年同期は0百万円の使用)となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額115百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、2025年2月5日の「2024年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。今後、状況の進展や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,452,621	4,382,525
売掛金	6,118,211	4,551,866
商品	11,535	62,583
番組勘定	321,562	294,492
コンテンツ事業権	2,267,798	2,367,811
前渡金	305,251	414,106
立替金	896,243	400,105
その他	405,305	404,222
流動資産合計	12,778,529	12,877,713
固定資産		
有形固定資産	20,070	18,847
無形固定資産	7,647	6,418
投資その他の資産		
投資有価証券	1,385,827	2,357,877
長期貸付金	93,577	90,577
繰延税金資産	156,244	156,244
その他	66,696	149,269
貸倒引当金	△102,851	△118,123
投資その他の資産合計	1,599,495	2,635,844
固定資産合計	1,627,213	2,661,110
資産合計	14,405,742	15,538,824
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,106,702	5,503,345
契約負債	293,305	511,655
賞与引当金	55,436	—
その他	734,332	295,144
流動負債合計	6,189,777	6,310,145
固定負債		
繰延税金負債	417,158	771,685
その他	15,348	14,709
固定負債合計	432,506	786,394
負債合計	6,622,284	7,096,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	5,988,803	5,988,803
利益剰余金	330,170	579,551
自己株式	△33,136	△33,136
株主資本合計	6,335,837	6,585,218
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	576,643	944,250
その他の包括利益累計額合計	576,643	944,250
新株予約権	466,104	255,724
非支配株主持分	404,872	657,090
純資産合計	7,783,457	8,442,283
負債純資産合計	14,405,742	15,538,824

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,193,581	4,867,487
売上原価	4,037,400	3,819,754
売上総利益	1,156,180	1,047,732
販売費及び一般管理費	837,338	908,757
営業利益	318,842	138,975
営業外収益		
受取利息	901	2,070
為替差益	7,719	-
受取配当金	-	8,019
業務受託料	706	549
その他	21	192
営業外収益合計	9,348	10,831
営業外費用		
支払利息	33	25
為替差損	-	7,326
営業外費用合計	33	7,352
経常利益	328,157	142,454
特別利益		
固定資産売却益	18,666	-
新株予約権戻入益	-	230,654
特別利益合計	18,666	230,654
特別損失		
減損損失	-	157
特別損失合計	-	157
税金等調整前中間純利益	346,823	372,951
法人税、住民税及び事業税	64,591	5,372
法人税等合計	64,591	5,372
中間純利益	282,232	367,578
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△2,350	2,303
親会社株主に帰属する中間純利益	284,582	365,275

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	282,232	367,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△215,659	617,522
その他の包括利益合計	△215,659	617,522
中間包括利益	66,573	985,101
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	156,202	732,883
非支配株主に係る中間包括利益	△89,629	252,217

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	346,823	372,951
減価償却費	5,693	5,283
減損損失	—	157
株式報酬費用	43,848	20,274
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	15,272
賞与引当金の増減額(△は減少)	△35,817	△55,436
受取利息及び受取配当金	△901	△10,089
支払利息	33	25
固定資産売却損益(△は益)	△18,666	—
為替差損益(△は益)	△7,378	7,130
売上債権の増減額(△は増加)	306,424	1,482,344
棚卸資産の増減額(△は増加)	△806,859	△123,991
前渡金の増減額(△は増加)	△25,640	△108,855
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△35,063	463,210
仕入債務の増減額(△は減少)	1,372,203	396,642
契約負債の増減額(△は減少)	220,369	218,349
その他の流動負債の増減額(△は減少)	175,968	△358,061
新株予約権戻入益	—	△230,654
その他	4,422	524
小計	1,545,461	2,095,079
利息及び配当金の受取額	1,081	10,248
利息の支払額	△33	△25
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,214	△53,089
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,541,294	2,052,211
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,952	△2,674
無形固定資産の取得による支出	—	△313
貸付金の回収による収入	3,000	3,000
差入保証金の回収による収入	—	5,000
敷金及び保証金の差入による支出	△3,537	△4,071
その他	△795	△1,380
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,284	△439
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△624	△631
配当金の支払額	—	△115,460
自己株式の取得による支出	△10	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△634	△116,091
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,429	△5,776
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,542,805	1,929,904
現金及び現金同等物の期首残高	2,413,639	2,452,621
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,956,444	4,382,525

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
給料及び手当	209,504千円	238,695千円
退職給付費用	18,320	23,765
地代家賃	80,559	49,994
支払手数料	190,811	263,752
貸倒引当金繰入額	—	15,272

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
現金及び預金勘定	3,956,444千円	4,382,525千円
現金及び現金同等物	3,956,444	4,382,525

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	エンターテインメント事業	ライツ&メディア事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,971,600	1,221,980	5,193,581	0	5,193,581
外部顧客に対する売上高	3,971,600	1,221,980	5,193,581	0	5,193,581
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,971,600	1,221,980	5,193,581	0	5,193,581
セグメント利益又は損失（△）	468,323	164,491	632,815	△3,400	629,414

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カラオケのアプリ事業を行っていましたが、当中間連結会計期間において事業を終了しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	632,815
「その他」の区分の利益	△3,400
全社費用（注）	△310,572
中間連結損益計算書の営業利益	318,842

（注）全社費用は、主に報告セグメントに配賦していない管理部門等に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	エンターテインメント事業	ライセンス&メディア事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,673,853	1,193,634	4,867,487	—	4,867,487
外部顧客に対する売上高	3,673,853	1,193,634	4,867,487	—	4,867,487
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,850	1,850	—	1,850
計	3,673,853	1,195,484	4,869,337	—	4,869,337
セグメント利益	273,154	134,919	408,073	—	408,073

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	408,073
「その他」の区分の利益	—
全社費用(注)	△269,097
中間連結損益計算書の営業利益	138,975

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに配賦していない管理部門等に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。